

令和3年9月1日

ご入居者・関係各位

オーシャンプロムナード湘南
館長 鴨下和美

今後の感染症予防対策につきまして

日頃よりホームの運営にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
感染は去年の今頃よりも拡大、ワクチン接種2回済まれた方の感染報告もありまだまだ油断のできない状況です。今後のホームの感染予防対策につきまして下記にまとめました。

【ご面会・ご来館者について】

○ご親族、ご友人などのご来館は、基本的には**2名様までとし、事前にフロントへご連絡**をお願いいたします。**面会時間は30分程度とし、訪室は引き続き自粛**をお願いいたします。
ラウンジ、ダイニング、ナノス棟リビング等をご利用いただき換気をしながら衝立越しの面会となります。

面会時は手洗いうがい、問診票への記入、濃厚接触とならないよう**両者マスク着用**を原則とさせていただきます。**飲食はお控えください**。ホームからお客様へのお茶サービスも、引き続き控えさせていただきます。（事情をご配慮し、面会の個別でのご相談は承ります）

○引き続きLINE【ライン】電話での面会は受付いたします。

○ホームご見学者は感染予防対策を徹底していただきお受けします。

【各訪問によるサービス】

○嘱託往診／訪問診療／訪問リハビリ／訪問歯科／訪問理美容に関しましては、感染予防対策を徹底し、引き続き継続してまいります。

○居室内での個別マッサージについては感染対策（両者マスク着用・フェイスシールド着用）へのご協力をお願いいたします。

【外出について】

○商店街へのお買い物やお散歩は、空いている時間帯で人混みは避けてお出かけください。

※介護サービスをお受けのご入居者の外出については都度、要相談とさせていただきます。

○公共交通機関のご利用は控えていただき、どうしてものお出掛けの際はタクシーやホームの送迎をご利用ください。

○外でマスクを外すことはお控えください。

○外部のかたと一緒にお出掛けになるのは引き続きお控えください。

※ご家族より、一緒に散歩ぐらいはとのお話もございますが、今はまだお控えください。

※ご自宅への帰宅時は自己管理の徹底をお願いいたします。

○必要性のある病院受診は感染予防対策を徹底し受診ください。なお、緊急性のない病院受診は引き続き自粛願います。

※オンライン受診などへの切り替えも積極的に進めます。

【館内でのお約束事】

○館内でのマスク着用はお続けください。ソーシャルディスタンスもお守りください。

※スタッフや工事等の業者が訪室時も、居室内でマスク着用を徹底願います。

○自立の方の一日一回の検温は引き続き継続をお願いいたします。フロントへお越しくください。

○ダイニングでのお食事は、より濃厚接触者を減らす必要があるため、引き続き、お一人様ワンテーブルを原則（ご夫妻を除く）とし、自立の方と介護サービスをお受けの方の食事時間も分けての対応とさせていただきます。

※恐縮ですが、その日のご体調やメニューの内容、職員人員配置によってはダイニングの入れ替え時間に多少の遅れが生じる場合もございます。都度ご案内をいたしますのでご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

○カードゲーム、麻雀など1m以内の濃厚接触を外部の方とすることは引き続き自粛をお願い致します。

○ギャラリーにつきましては、一般のお客様の鑑賞をお受けしておりますが、引き続き、入場午前9:30~11:30 午後1:30~4:30の間で、一度に2名様ずつ、滞在時間は30分以内でご来場していただきます。

※こちらもお茶サービスは控えさせていただきます。

以上

令和3年9月1日

ご入居者・関係各位

オーシャンプロムナード湘南
館長 鴨下和美

新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者

発生時の対応について (3)

皆様のご理解とご協力のおかげで、今日まで感染者を出さずに来られました。心より感謝申し上げます。しかし家庭内感染が身近に広がっており、いつホーム関係者で罹患者が発生してもおかしくない状況となっております。濃厚接触者となり2週間自宅待機となるケースも増えると思われまます。そこで、そういった際のホーム運営対策を想定できる範囲で下記にまとめ、再発信させていただきます。

尚、感染対策として職員のPCR検査（各自月2回）は10月末まで継続してまいります。

【直接処遇職員の場合】

- ① 少しでも体調不良の場合、または濃厚接触者となった場合は即お休みとし、その後の体調の変化に留意し、会社へ体調を定期的に報告
- ② 休む職員の代わりに職員が休日を返上するなどした場合、体力的に負荷がかかり、その職員の罹患リスクが上がると予想される場合は、職員の補填はしない。
サービス内容オペレーションを変更することでの対応とする。
但し、夜勤者に関してはできるだけ補填する。

オペレーションの内容を変更する場合、介護課に関しては、ご入居者の基本的な生活が成り立つことを前提とした変更とさせていただきます。

例：個別対応をお休みさせていただく 入浴日を変更させていただく など

- ① 体調不良から、罹患疑いとなり、罹患が確定された際は、保健所の指導の下、発症日の2日前からの行動履歴をすみやかに検証し、濃厚接触者の割り出しを行う。保健所機能がマヒし判断の遅れが生じることも想定し、ホーム管理者主導で濃厚接触者と思われる方への対策は早め早めに行う。
- ③ 職員の濃厚接触者の人数にもよるが、基本的な生活が成り立つオペレーションを出勤可能人数に合わせて組み立て、入居者の生活をお守りする。
自社スタッフで対応しきれない場合は、グループ内の他施設へのサポート要請、または派遣スタッフ等、保健所指導の下で対応してゆく。

【厨房職員の場合】

- ① 調理員で感染疑いの症状が出た際は、即、オペレーションをストップとする。
※厨房職員は常に厨房内で一緒に仕事をしており、濃厚接触の可能性が高く、また、食事提供で一気に感染が広がる可能性があります。
よって疑いの段階でも、お食事提供をストップとさせていただきます。
- ② 調理員が濃厚接触者となった場合は、その状況を精査し保健所の指示に従う
- ③ 厨房を止めた場合は、3食を、外注で補填とする。
すでに外注先はいくつか候補があり、外注の段取りは栄養士の仕事とする
※いざというときに、栄養士が濃厚接触者にならないよう、調理人と栄養士は常に距離を保ちながら仕事をしております。

【ご入居者の場合】

- ② 発熱等で罹患疑いの場合、往診または発熱外来へお連れする。ホームの車でお連れする場合は他の方への感染が広がらないようにホームの感染マニュアルで移動していただく
- ③ 罹患がはっきりするまで入院できない場合で、自室では感染拡大の危険性がある場合は、1階奥・ナノス棟の居室へご移動いただく。
ホーム感染症対策チームの看護師と介護職が、ナノス内にて看護介護を担当する。
その職員は、一切こちらの本棟へは入らず、感染エリア(ナノス内)と、清潔エリア(本棟内)のスタッフは、完全に分ける。
- ④ 罹患が確定された場合は、入院治療を受けていただく。そしてそのご入居者の発症日2日前からの行動履歴をすみやかに検証し保健所へ提出する。保健所機能がマヒし判断の遅れが生じることも想定し、ホーム管理者主導で濃厚接触者と思われる方への対策は早め早めに行う。
※近隣病院が満床等、何らかの事情で入院できない場合は、ナノス棟エリアでの看護となります。
- ⑤ 罹患者が重症化の場合、治療方針はその方のご希望を医師に伝え対応してゆく。

注) ご自身で意思を伝達できるご入居者様には、人工呼吸器を希望するかしらないかの意思確認を、看取りシートの内容と照らし合わせ、再確認しております
介護をお受けのご入居者様に関しては、身元引受人様とご相談しながら治療方針を決めさせていただきたいと思っております。

【濃厚接触者を減らす日頃からの策として】

感染者が出た場合に濃厚接触者が極力少なく済むように、日頃より職員の注意として業務中は下記を行います。

- ① サージカルマスク着用を徹底し常に他者との距離感を保つ
- ② ホーム内での食事は、距離を置き、個別に時間差でとる
- ③ 入居者との会話時は距離を取らせていただく
- ④ 居室への訪室は必要最小限とさせていただきます
- ⑤ 入居者へ移さない！を徹底するための用心でフェイスガードの利用も取り入れる
- ⑥ 入浴介助、食事介助、排せつ介助やお着替えなどは、どうしても濃厚接触となるが、スタッフは必ずマスク着用し、ご入居者もマスク着用ができる場面はしていただく
- ⑦ 体調が悪い場合は無理せずに休む

以上となります。

運営へのご理解を賜り、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

令和3年9月1日 更新